LION

保存用

トレー方式重要物管理機　トレースキューブ

Trace Cube

取扱説明書

－ ツールプログラム編 －

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、トレー方式重要物管理機　トレースキューブ　Trace Cube をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、この取扱説明書は大切に保存してください。

はじめに

このたびは、トレー方式重要物管理機　トレースキューブ　Trace Cube をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。なお、この取扱説明書は大切に保存してください。

個人情報の漏洩防止やセキュリティ確保・悪用防止のため、弊社においては設計から生産に至るまで技術・装置が流出しないよう厳重に管理しております。お客様においても納入時から廃棄に至るまで技術・装置が流出しないよう厳重に管理していただくようお願い申し上げます。

また、本装置を廃棄する場合は、破砕等の方法により装置機能を消滅させてから廃棄するよう、お願い申し上げます。

● 使用許諾契約

個人情報の漏洩防止、セキュリティ確保、悪用防止などの観点から、お客様が本装置を使用するにあたっては、下記の使用契約の内容を承諾していただきます。

- 脆弱性評価、精度評価、その他評価の実施

（使用条件）

- 本装置および添付ソフトの全部または一部を、所定の取扱説明書に従って稼働させる以外の目的で使用してはならず、また本装置および添付ソフトのプログラムの全部または一部にアクセスしてはならないものとします。
- 本装置および添付ソフトのプログラムの全部または一部を、逆アセンブルまたは逆コンパイルしてはならないものとします。
- 本装置および添付ソフトのプログラムの全部または一部を、リバースエンジニアリングしてはならないものとします。
- 開示目的での脆弱性評価、精度評価、その他評価の実施は第三者への委託および第三者を含めた評価は実施しないものとします。

- 脆弱性評価、精度評価、その他評価の結果の第三者への公表・開示

脆弱性評価、精度評価、その他評価の項目、内容、結果などの評価にかかわる情報を第三者に開示してはならないものとします。

- 損害賠償の請求

本契約に関してお客様との間で疑義または争いが生じた場合は、誠意を持って協議し、できる限り円満に解決することとしますが、その解決のために訴訟手続きなどの申し立てを行う場合は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として処理するものとします。

本契約は、日本国法に準拠し、同法に従って解釈されるものとします。

● 注意事項について

本取扱説明書の内容の全部または一部を、無断で転載あるいは引用、複写することは禁止されています。

本取扱説明書の内容については、予告なく変更することがあります。

本取扱説明書の内容について、万が一ご不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたら、お買い求め先へご連絡いただきますようお願いいたします。

● 免責事項について

- 地震、火災、水害、落雷、その他天災地変などの不可抗力的事故による、故障、損傷、第三者による行為、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 本装置の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記憶内容の変化、焼失、事業の中断など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 記憶装置（内部メモリ、メモリカードなど）に記載された内容は、故意や障害に関わらず保証いたしません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本取扱説明書に記載されている内容は、弊社製品を使用した場合の代表的な例示を示すものであり、本取扱説明書によって工業所有権、その他権利の実現に対する保証または実施権の許諾を行うものではありません。本装置を使用したことにより、第三者と工業所有権に関する問題が発生した場合、弊社は一切その責任を負いません。

● 輸出規制について

本装置を輸出される場合は、外国為替および外国貿易法、ならびに米国の輸出関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

● 電波障害防止について

本装置は、家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対応を講ずるよう要求されることがあります。

● 登録商標について

この取扱説明書中に記載されている製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

目次

1 ご使用になる前に 1

1.1 対応装置タイプ 1
1.2 概要 1
1.3 カード ID 2
1.4 動作環境 3
1.5 インストール 3
1.6 アンインストール 3

2 基本操作 4

2.1 操作の流れ 4

3 画面の説明 5

3.1 作成ファイル選択画面 6
3.2 環境設定確認画面 7
3.3 編集ファイルロード選択画面 8
3.4 データ編集説明画面 10
3.5 データ編集画面 11
3.6 環境設定画面 15
3.7 ユーザ設定画面 17
3.8 OneTime 登録カード設定画面 19

4 ファイルの説明 21

4.1 ユーザ編集ファイル 21
4.2 OneTime 登録カード編集ファイル 23
4.3 ユーザー括登録ファイル 24
4.4 OneTime 登録カード一括登録ファイル 24
4.5 一括登録エラーリストファイル 25

5 一括登録ファイルの使い方 26

5.1 ユーザー括登録ファイル 26
5.2 OneTime 登録カード一括登録ファイル 27

6 Trace Cube 本体における操作 28

6.1 トレー共有設定の確認 28
6.2 OneTime 機能設定の確認 28
6.3 一般ユーザ登録済みトレーの確認 28
6.4 OneTime 登録トレーの確認 28
6.5 ユーザー括登録 29
6.6 ユーザデータの表示 29
6.7 OneTime 登録カードの一括登録 29
6.8 OneTime 登録カードの表示 29

7 CSV 形式ファイル編集時の注意事項 30

7.1 表計算ソフト 30

1 ご使用になる前に

Trace Cube 用ツールプログラム（以下、本ツールと表記します）をご使用になる前に、知っておいていただきたいことについて説明します。

なお、本書は Trace Cube 装置本体の取扱説明書を読み、内容が理解されていることを前提としています。

1.1 対応装置タイプ

本ツールは以下のタイプの Trace Cube に対応しています。

項番	装置タイプ	備考
1.	標準タイプ (FeliCa／MIFARE 対応)	
2.	ミューチップタイプ	
3.	指静脈タイプ	

1.2 概要

本ツールは Trace Cube にて読み込み可能な以下の２つのファイルを作成することが可能です。

項番	ファイル名称	備考
1.	ユーザー括登録ファイル (userregl.dat)	Trace Cube を利用する一般ユーザ、管理者の仮登録データをまとめて作成します。 ※ Trace Cube にて本ファイルを読み込み後、各人による本登録作業が必要です。
2.	OneTime 登録カード一括登録ファイル (onecardl.dat)	OneTime 利用を制限するために、利用可能なカードを登録することができます。 ここでは、最大 1000 枚のカードデータをまとめて作成します。 ※ Trace Cube 本体の OneTime 機能設定が「登録モード」の時にのみ有効です。 ※ 本ツールにはカード内容を読み取る機能はありません。カード作成時にカード ID のリストを入手するか、他のアプリケーションソフトウェアを使用してカード ID を読み取り、リストを作成しておく必要があります。 ※ 指静脈タイプでは本機能は使用できません。
3.	バックアップ用ＵＳＢメモリのフォーマット	Trace Cube で使用するＵＳＢメモリは、本機能を使用してフォーマットしてからご使用ください。 ※ フォーマットすると、ＵＳＢメモリ内の全てのデータが消えてしまいます。ご注意ください。

ユーザデータ及び、OneTime 登録カードデータは Trace Cube 本体のみでも個別に登録することが可能です。

1.3　カード ID

OneTime 登録カード一括登録ファイルに設定するカード ID について説明します。

Trace Cube にて利用可能なカードは FeliCa（フェリカ）、MIFARE（マイフェア）、μチップ（ミューチップ）の 3 種類です。

これらのカードには、そのカード種別内でユニークな ID 番号（カード ID）が割り振られています。

Trace Cube ではカード種別とカード ID の組み合わせでチェックを行います。

カード種別毎のカード ID

項番	カード種別	カード ID
1.	フェリカ	FeliCa 毎にユニークな 8 バイト（16 進数 16 桁）の Idm を使用する
2.	マイフェア	MIFARE 毎にユニークな 7 バイト（16 進数 14 桁）の UID を使用する ※　UID が 4 バイトの場合は先頭 3 バイトを 0x00 としたあとに UID を追加し、7 バイトとする。
3.	ミューチップ	μチップ毎にユニークな 16 バイト（16 進数 32 桁）の ID 番号を使用する

Trace Cube ではカード ID を 16 進数文字で表示します。

本書で 16 進数の値を表記する際には 0x の後に 16 進数値を続けます。

例）フェリカカードの場合

8 バイトの Idm 情報が以下であるときには

Idm[0] = 0xF1

Idm[1] = 0xF2

Idm[2] = 0xF3

Idm[3] = 0xF4

Idm[4] = 0xF5

Idm[5] = 0xF6

Idm[6] = 0xF7

Idm[7] = 0xF8

カード ID は 16 進数 16 桁で、F1F2F3F4F5F6F7F8 と表示します。

注）

・FeliCa（フェリカ）は、ソニー株式会社の登録商標です。

・MIFARE（マイフェア）は、NXP セミコンダクターズの登録商標です。

・μチップ（ミューチップ）は、株式会社日立製作所の登録商標です。

1.4　動作環境

本ツールの動作環境は以下のとおりです。

項番	画面の種類	摘要
1	OS	Windows2000 以降
2	モニタ	XGA（1024×768）以上

1.5　インストール

ダウンロードしたファイルを任意のフォルダに解凍してください。

以下のフォルダが解凍されます。

TCTool　　フォルダ

├ TCTool.exe　　プログラム本体

├ ツールプログラム取扱説明書.pdf　　本書

本書では、C:¥Program Files¥TCTool フォルダに解凍した場合について説明します。

C:¥Program Files¥TCTool 以外のフォルダに解凍する場合には適宜読み替えてください。

1.6　アンインストール

インストールしたフォルダ（C:¥Program Files¥TCTool）毎削除してください。

レジストリは使用していません。

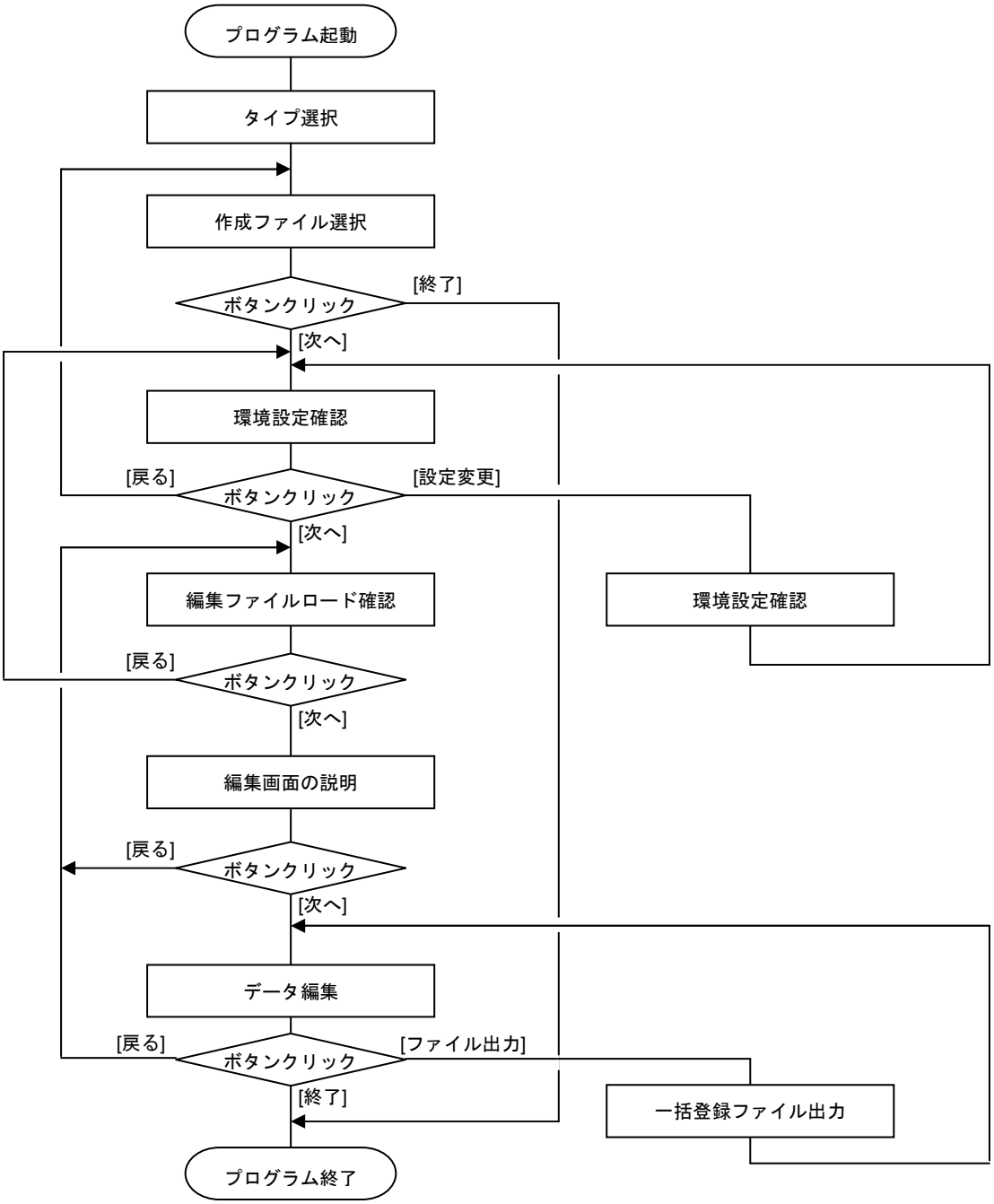
2 基本操作

本ツールの基本的な操作について説明します。

2.1　操作の流れ

エクスプローラにて C:¥Program Files¥TCTool¥TCTool.exe をダブルクリックしてください。

プログラムが起動して、装置タイプ選択画面が表示されます。以降は画面の指示に従ってください。



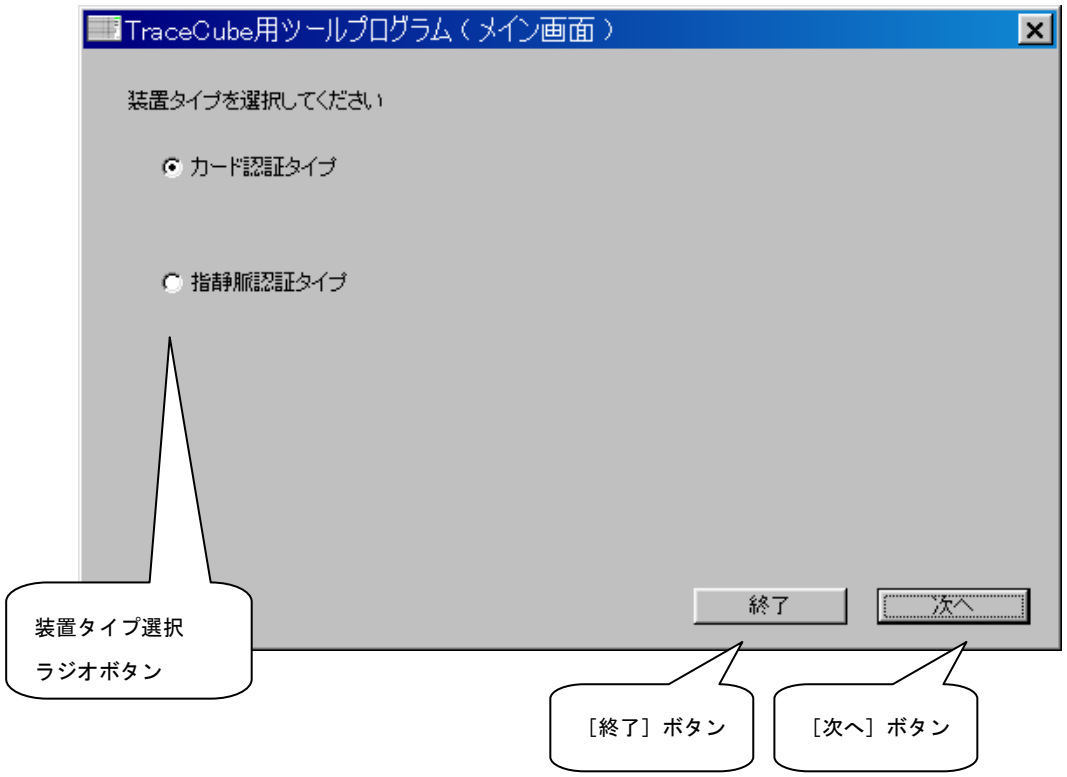
3 画面の説明

本ツールで使用する画面について説明します。

3.1 装置タイプ選択画面

プログラム起動直後に表示される画面です。

装置タイプを選択してください。



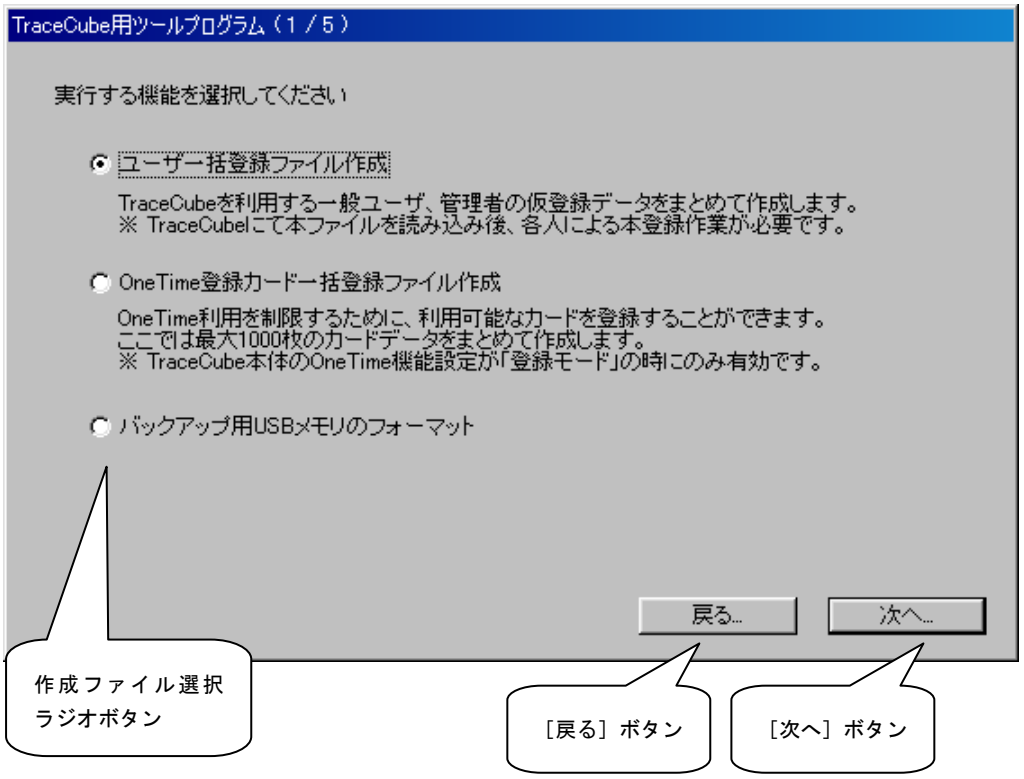
画面の説明

項番	項目	内容
1.	作成ファイル選択ラジオボタン	「カード認証タイプ」、「指静脈認証タイプ」のどちらかを選択してください。
2.	［終了］ボタン	プログラムを終了します。
3.	［次へ］ボタン	次画面（作成ファイル選択画面）を表示します。

3.2　作成ファイル選択画面

プログラム起動直後に表示される画面です。

作成するファイルを選択してください。



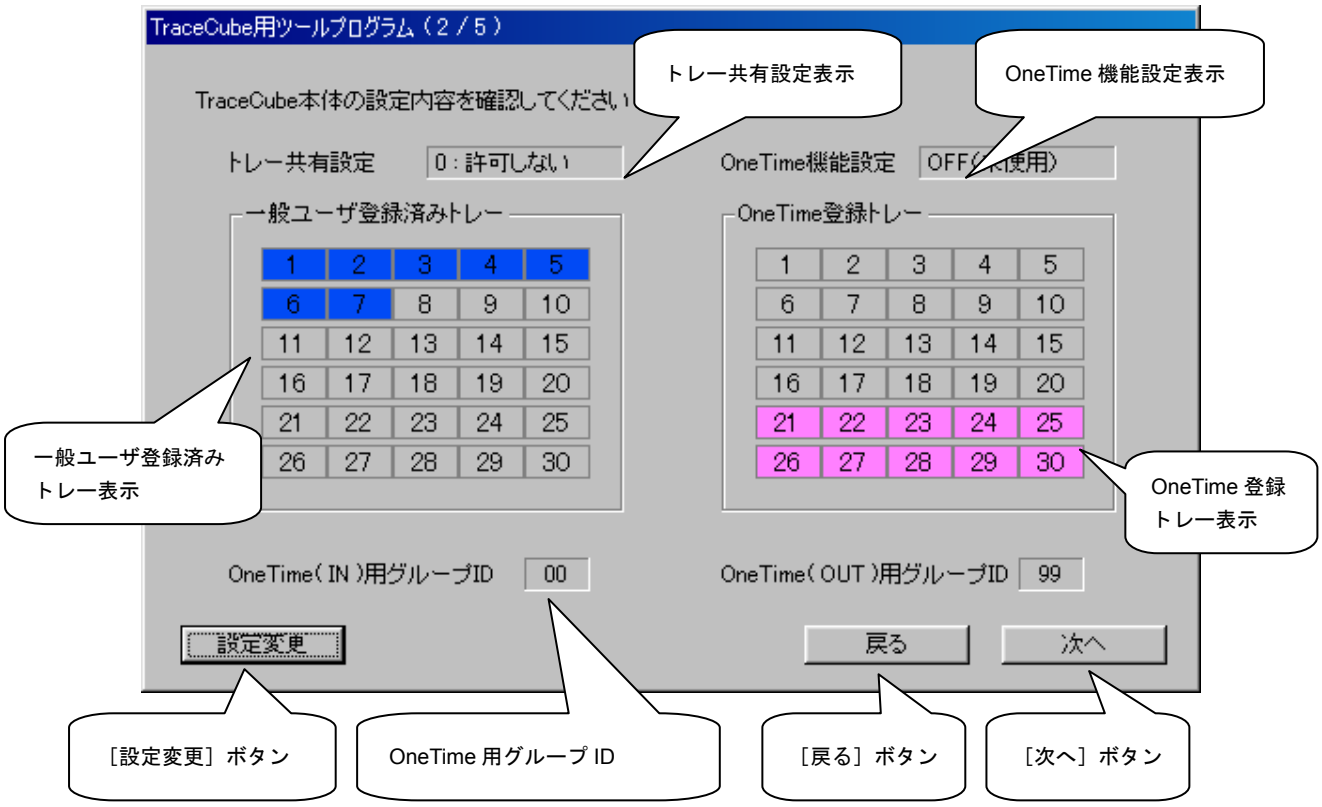
画面の説明

項番	項目	内容
1.	作成ファイル選択ラジオボタン	「ユーザー括登録ファイル」、「OneTime 登録カードー括登録ファイル」の作成又は「バックアップ用 USB メモリのフォーマット」のいづれかを選択してください。指静脈認証タイプのとき、「OneTime 登録カードー括登録ファイル」は選択できません。
2.	［戻る］ボタン	前画面（装置タイプ選択画面）に戻ります。
3.	［次へ］ボタン	次画面（環境設定確認画面）を表示します。

3.3　環境設定確認画面

Trace Cube 本体の設定内容を確認して、この設定を装置にあわせてください。

表示内容を変更する場合には［設定変更］ボタンをクリックすると変更できるようになります。

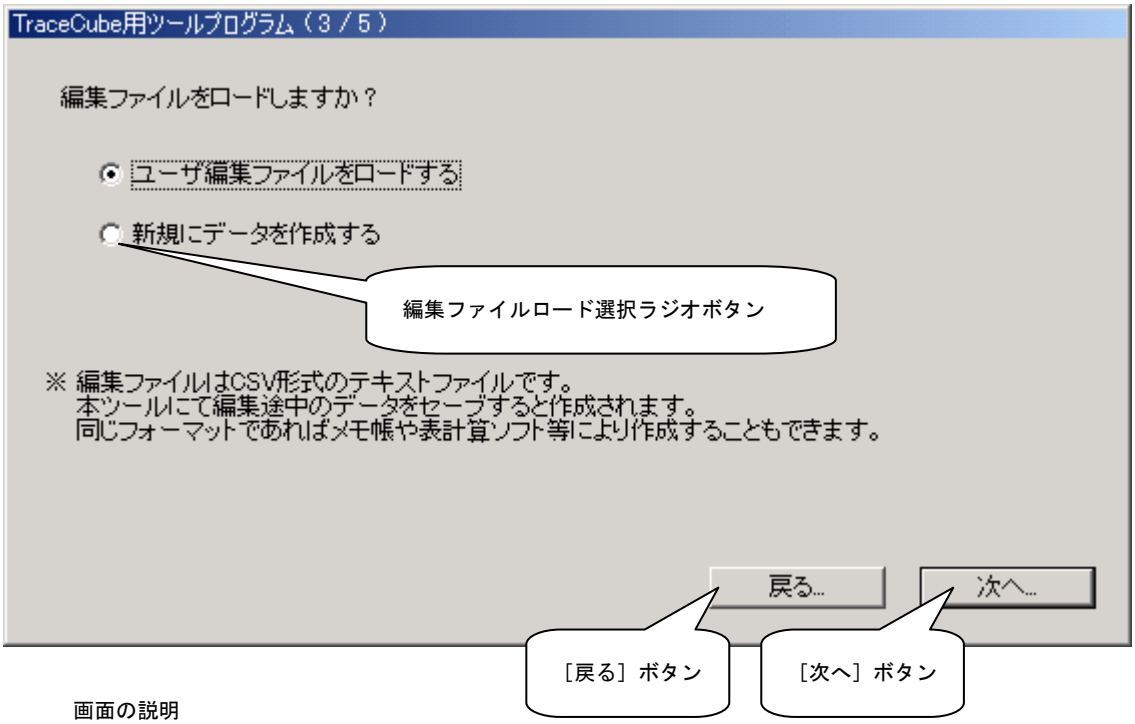


画面の説明

項番	項目	内容
1.	トレー共有設定表示	Trace Cube 本体の設定と同じ事を確認してください。 Trace Cube 本体における設定確認方法は「6. Trace Cube 本体における操作」を参照してください。
2.	OneTime 機能設定表示	Trace Cube 本体の設定と同じ事を確認してください。 Trace Cube 本体における設定確認方法は「6. Trace Cube 本体における操作」を参照してください。
3.	一般ユーザ登録済みトレー表示	Trace Cube 本体の設定と同じ事を確認してください。 Trace Cube 本体における設定確認方法は「6. Trace Cube 本体における操作」を参照してください。
4.	OneTime 登録トレー表示	Trace Cube 本体の設定と同じ事を確認してください。 Trace Cube 本体における設定確認方法は「6. Trace Cube 本体における操作」を参照してください。
5.	［設定変更］ボタン	設定の変更を行うために、環境設定画面を表示します。
6.	OneTime 用グループ ID	OneTime 用のグループ ID を設定します。この項目は指静脈タイプ以外では表示されません。
7.	［戻る］ボタン	前画面（作成ファイル選択画面）に戻ります。
8.	［次へ］ボタン	次画面（環境設定確認画面）を表示します。

3.4　編集ファイルロード選択画面

編集ファイル（※1）をロードするか、しないかを選択してください。



画面の説明

項番	項目	内容
1.	編集ファイルロード選択 ラジオボタン	「ユーザ編集ファイルをロードする」（※2）、「新規にデータを作成する」から選択してください。 前回編集途中のデータがある場合や、ユーザ自身にて作成したファイルをロードさせる場合には「編集ファイルをロードする」を選択してください。
2.	［戻る］ボタン	前画面（環境設定確認画面）に戻ります。
3.	［次へ］ボタン	編集ファイルをロードする場合には、ファイル選択画面を表示しますので、ロードする編集ファイルを選択して下さい。 編集ファイルをチェックしてロード終了後に、次画面（環境設定確認画面）を表示します。 ロード処理中のエラーについては下表を参照してください。 編集ファイルをロードしない場合には、次画面（環境設定確認画面）を表示します。

※1 編集ファイルとは

CSV 形式のテキストファイルです。本ツールで編集したデータをセーブすることにより作成されます。

メモ帳や表計算ソフトを利用して作成することもできます。

ファイルの詳細は「項番７．１ 編集ファイル」を参照してください。

※2 作成ファイル選択画面で、「OneTime 登録カード一括登録ファイル」を選択した場合は、

「OneTime 登録カード編集ファイルをロードする」と表示されます。

エラーメッセージ一覧（ユーザ編集ファイル）

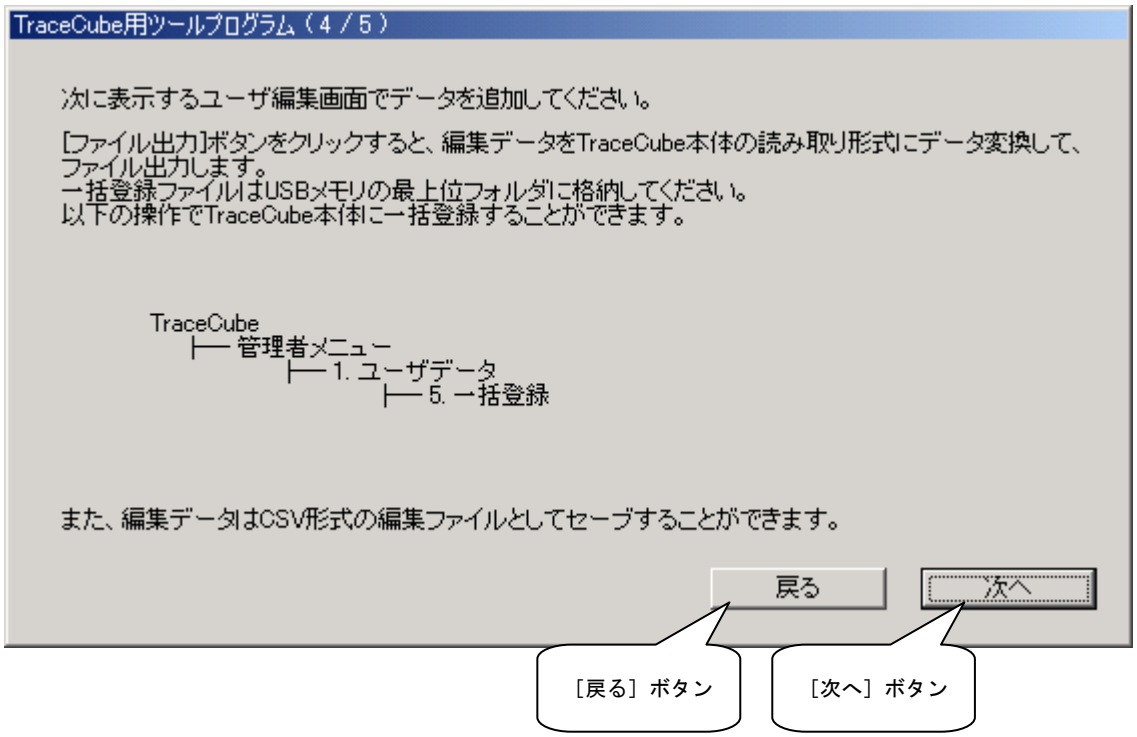
項番	エラーメッセージ	原因／対処方法
1.	ユーザ ID（XXXXXXXXXX）は、既に登録されています。 このデータを破棄して処理を続行する場合には[OK]、 処理を中止する場合には[キャンセル]、を選択してください	ユーザ編集ファイル内でユーザ ID が重複しています。
2.	ユーザ ID（XXXXXXXXXX）のユーザ種別が不正です。 ユーザ種別を修正する場合は[OK]、 処理を中止する場合には[キャンセル]、を選択してください	正しいユーザ種別コードを設定してください。 詳細は「4.1 ユーザ編集ファイル」を参照してください。
3.	ユーザ ID（XXXXXXXXXX）の照合方法が不正です。 照合方法を修正する場合は[OK]、 処理を中止する場合には[キャンセル]、を選択してください	正しい照合方法コードを設定してください。 詳細は「4.1 ユーザ編集ファイル」を参照してください。
4.	ユーザ ID（XXXXXXXXXX）の対応トレーが不正です。 対応トレーを修正する場合は[OK]、 処理を中止する場合には[キャンセル]、を選択してください	①正しい対応トレー番号を設定してください。 詳細は「4.1 ユーザ編集ファイル」を参照してください。 ②トレー共有を許可しない設定の場合は、一般ユーザ登録済みトレー、またはユーザ編集ファイル内で対応トレーの重複はできません。 ③OneTime 機能を使用する場合には、OneTime 登録トレーとの重複はできません。

エラーメッセージ一覧（OneTime 登録カード編集ファイル）

項番	エラーメッセージ	原因／対処方法
1.	カード ID（XXXXXXXXXX）の桁数が不正です。 このデータを破棄して処理を続行する場合には[OK]、 処理を中止する場合には[キャンセル]、を選択してください	カード種別に対応した桁数のカード ID が設定されていません。
	カード ID（XXXXXXXXXX）の値が不正です。 このデータを破棄して処理を続行する場合には[OK]、 処理を中止する場合には[キャンセル]、を選択してください	カード ID は半角 16 進数文字を使用してください。 詳細は「4.2 OneTime 登録カード編集ファイル」を参照してください。
	カード ID（XXXXXXXXXX）は既に登録されています。 このデータを破棄して処理を続行する場合には[OK]、 処理を中止する場合には[キャンセル]、を選択してください	OneTime 登録カード編集ファイル内でカード種別とカード ID の組み合わせが重複しています。

3.5　データ編集説明画面

作成ファイル選択画面、編集ファイルロード選択画面の選択内容により、表示内容が異なります。



画面の説明

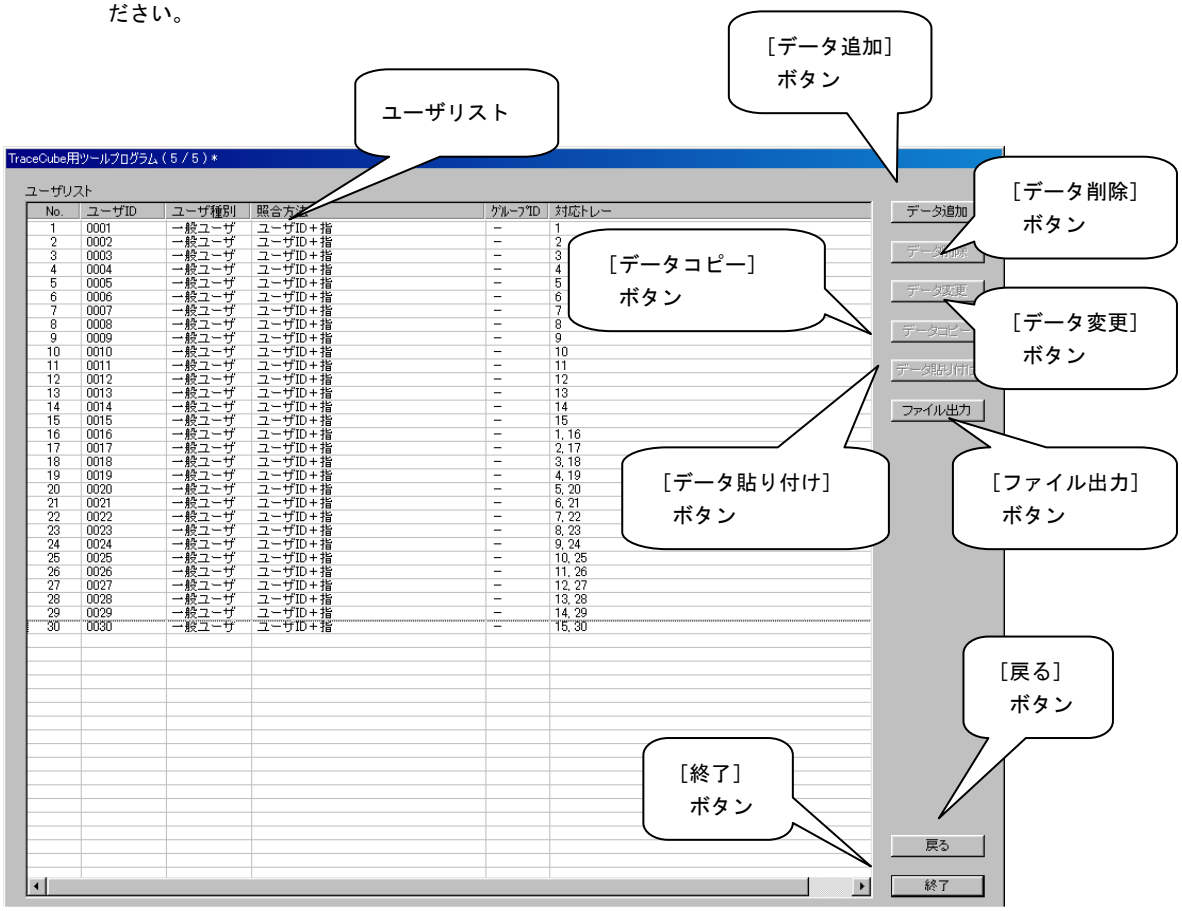
項番	項目	内容
1.	［戻る］ボタン	データクリアの問い合わせメッセージ表示後、 前画面（編集ファイルロード選択画面）に戻ります。
2.	［次へ］ボタン	次画面（データ編集画面）を表示します。

3.6　データ編集画面

作成ファイル選択画面における選択内容により、ユーザ編集画面または、OneTime 登録カード編集画面を表示します。

（１）　ユーザ編集画面

データの編集、確認後、「ファイル出力」ボタンをクリックしてユーザー括登録ファイルを出力してください。

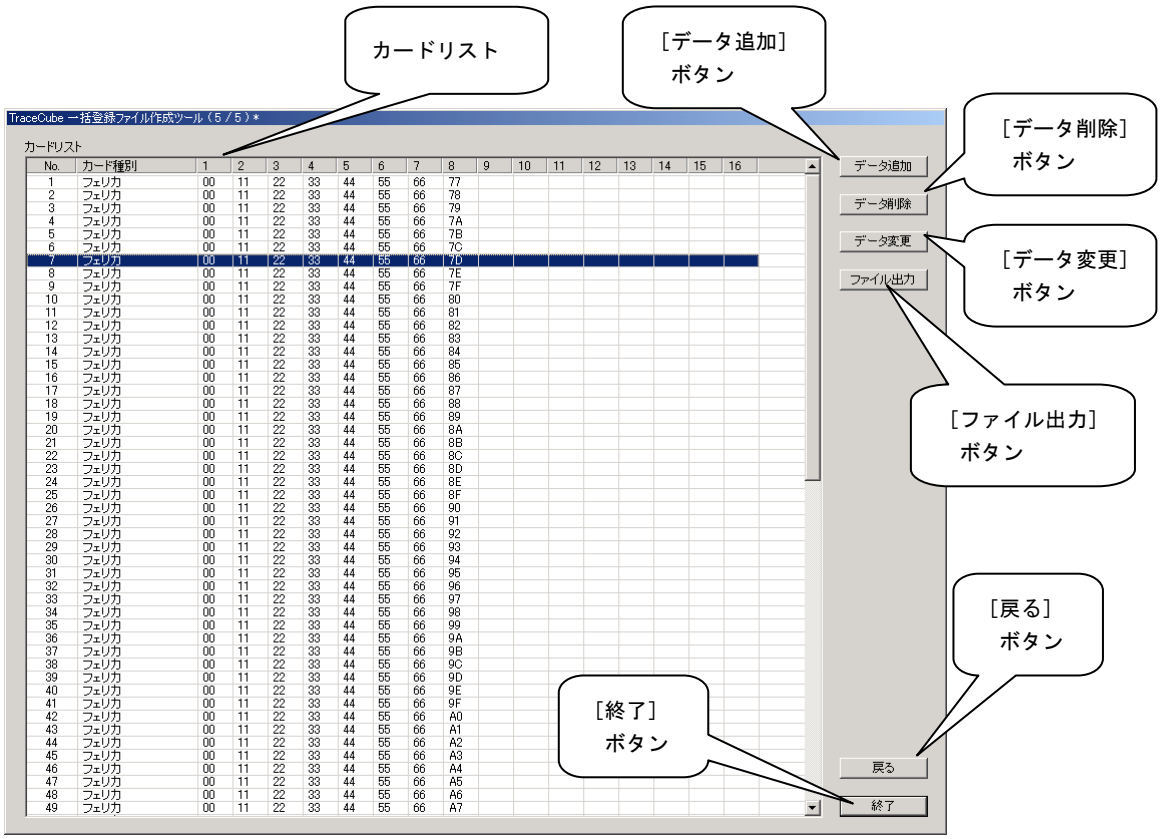


画面の説明

<table>
<tr><th>項番</th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1.</td><td>ユーザリスト</td><td>編集中のデータを以下の項目で表示します。
表示順はユーザ ID の昇順です。
シフトキー又はコントロールキーとマウスクリックの組み合わせにより、複数行の選択が可能です。
<table>
<tr><th>項番</th><th>項目</th></tr>
<tr><td>1.</td><td>表示番号</td></tr>
<tr><td>2.</td><td>ユーザ ID</td></tr>
<tr><td>3.</td><td>ユーザ種別</td></tr>
<tr><td>4.</td><td>照合方法</td></tr>
<tr><td>5.</td><td>グループ ID（指静脈タイプのみ）</td></tr>
<tr><td>6.</td><td>対応トレー</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>2.</td><td>［データ追加］ボタン</td><td>ユーザデータの追加を行うために、ユーザ設定画面を表示します。</td></tr>
<tr><td>3.</td><td>［データ削除］ボタン</td><td>削除確認の問い合わせメッセージ表示後、ユーザリストにて選択中のデータを削除します。</td></tr>
<tr><td>4.</td><td>［データ変更］ボタン</td><td>ユーザリストにて選択中のユーザデータの変更を行うために、ユーザ設定画面を表示します。</td></tr>
<tr><td>5.</td><td>［データコピー］ボタン</td><td>ユーザリストにて選択中のユーザデータをクリップボードにコピーします。
※ コピーしたデータは本ツールでのみ有効です。（メモ帳など、他のアプリケーションでは利用できません）
※ 本ツールを終了した場合には、クリップボードの内容は破棄されます。</td></tr>
<tr><td>6.</td><td>［データ貼り付け］ボタン</td><td>クリップボードの内容（ユーザ ID を除く）を、ユーザリストにて選択中のユーザデータに貼り付けます。</td></tr>
<tr><td>7.</td><td>［ファイル出力］ボタン</td><td>ユーザリストの内容をチェックした後、Trace Cube 本体が読み込み可能な形式にデータ変換して、ユーザー括登録ファイルとして出力します。
フォルダ選択画面が表示されるので、USB メモリの直下を選択して下さい。</td></tr>
<tr><td>8.</td><td>［戻る］ボタン</td><td>データ破棄の問い合わせメッセージを表示後、編集ファイルロード選択画面に戻ります。
※　問い合わせメッセージはデータ変更時のみ表示されます。</td></tr>
<tr><td>9.</td><td>［終了］ボタン</td><td>編集ファイルセーブの問い合わせメッセージを表示後、プログラムを終了します。
※　問い合わせメッセージはデータ変更時のみ表示されます。</td></tr>
</table>

（２）　OneTime 登録カード編集画面

データの編集、確認後、「ファイル出力」ボタンをクリックして OneTime 登録カード一括登録ファイルを出力してください。



画面の説明

項番	項目	内容
1.	ユーザリスト	編集中のデータを以下の項目で表示します。 表示順はカード ID の昇順です。 シフトキー又はコントロールキーとマウスクリックの組み合わせにより、複数行の選択が可能です。
2.	［データ追加］ボタン	カードデータを追加するために、OneTime 登録カード設定画面を表示します。
3.	［データ削除］ボタン	削除確認の問い合わせメッセージ表示後、カードリストにて選択中のカードデータを削除します。
4.	［データ変更］ボタン	カードリストにて選択中のカードデータの変更を行うために、OneTime 登録カード設定画面を表示します。

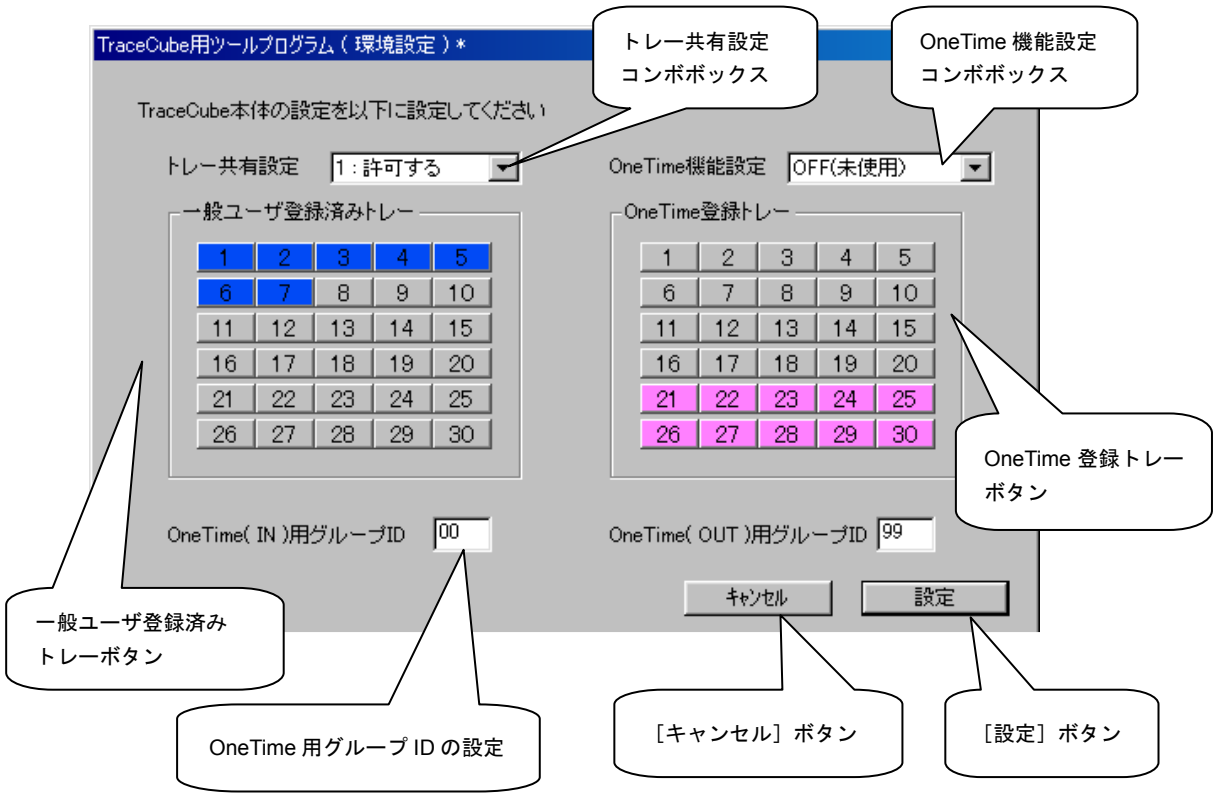
項番	項目
1.	表示番号
2.	カード種別
3.	カード ID

項番	項目	内容
5.	［ファイル出力］ボタン	カードリストの内容をチェックした後、Trace Cube 本体が読み込み可能な形式にデータ変換して、OneTime 登録カード一括登録ファイルとして出力します。 フォルダ選択画面が表示されるので、USB メモリの直下を選択して下さい。
6.	［戻る］ボタン	データ破棄の問い合わせメッセージを表示後、編集ファイルロード選択画面に戻ります。 ※　問い合わせメッセージはデータ変更時のみ表示されます。
7.	［終了］ボタン	編集ファイルセーブの問い合わせメッセージを表示後、プログラムを終了します。 ※　問い合わせメッセージはデータ変更時のみ表示されます。

3.7　環境設定画面

Trace Cube 本体の設定を本画面にて設定して下さい。

この設定内容はデータのチェックに使用します。



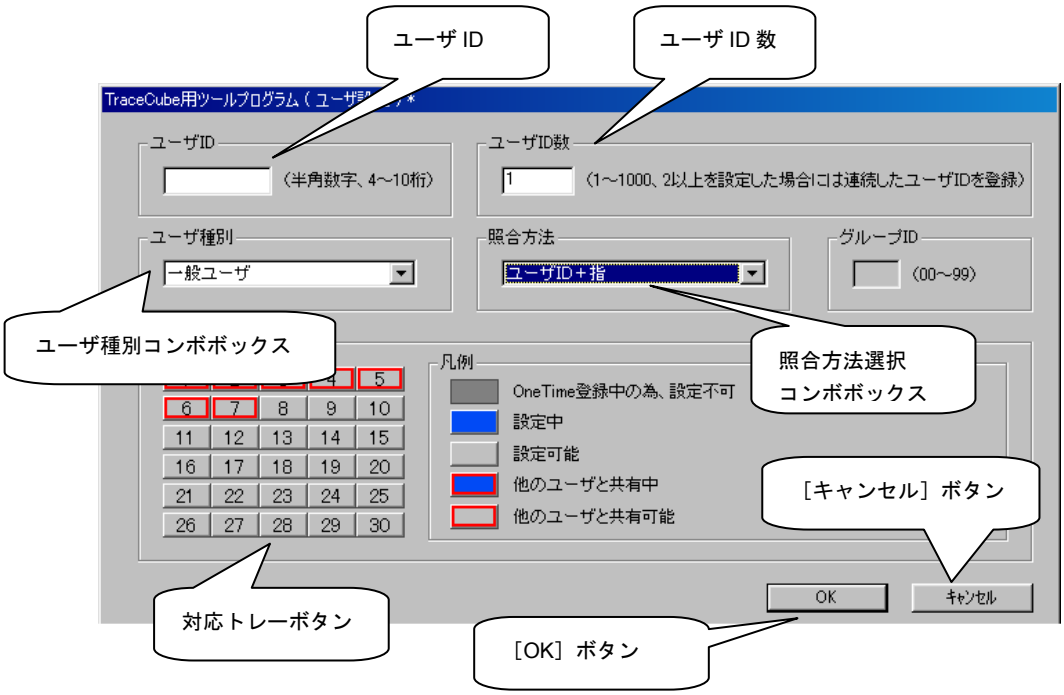
画面の説明

項番	項目	内容
1.	トレー共有設定コンボボックス	1 個のトレーを複数の一般ユーザで重複登録できるかどうかの設定です。 以下の中から選択して下さい。 項番 / 選択項目 / 内容 1. / 0 : 許可しない / 重複設定を許可しません 2. / 1 : 許可する / 重複設定を許可します Trace Cube 本体における設定確認方法は「6. Trace Cube 本体における操作」を参照してください。

<table>
<tr><th>項番</th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>2.</td><td>OneTime 機能設定コンボボックス</td><td>OneTime 機能の有効／無効を設定します。
以下の中から選択して下さい。
<table>
<tr><th>項番</th><th>選択項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1.</td><td>OFF（未使用）</td><td>OneTime 機能を無効とします</td></tr>
<tr><td>2.</td><td>フリーモード</td><td>OneTime 機能を有効とします</td></tr>
<tr><td>3.</td><td>登録モード</td><td>OneTime 機能を有効とします。
ただし、事前に登録済みのカードのみ OneTime 機能を利用できます。
※ OneTime 登録カードは Trace Cube 本体にて個別に登録するか、本ツールにて OneTime 登録カード一括登録ファイルを作成し、Trace Cube 本体に一括登録することができます。</td></tr>
</table>
Trace Cube 本体における設定確認方法は「6. Trace Cube 本体における操作」を参照してください。</td></tr>
<tr><td>3.</td><td>一般ユーザ登録済みトレーボタン</td><td>一般ユーザにて登録済みのトレー番号を設定します。
ボタンをクリックして、ブルーにすると登録済み、グレーにすると未登録を意味します。
Trace Cube 本体における設定確認方法は「6. Trace Cube 本体における操作」を参照してください。</td></tr>
<tr><td>4.</td><td>OneTime 登録トレーボタン</td><td>OneTime 用に登録されているトレー番号を設定します。
ボタンをクリックして、ピンクにすると登録済み、グレーにすると未登録を意味します。
Trace Cube 本体における設定確認方法は「6. Trace Cube 本体における操作」を参照してください。</td></tr>
<tr><td>5.</td><td>OneTime 用不ループ ID</td><td>指静脈タイプで OneTime を使用する場合に設定します。OneTime ユーザが入れる時と出す時に入力するグループ ID です。</td></tr>
<tr><td>6.</td><td>［キャンセル］ボタン</td><td>データ破棄の問い合わせメッセージ後、環境設定確認画面に戻ります。
※　問い合わせメッセージは設定変更時のみ表示されます。</td></tr>
<tr><td>7.</td><td>［設定］ボタン</td><td>環境設定内容を更新後、環境設定確認画面に戻ります。</td></tr>
</table>

3.8　ユーザ設定画面

ユーザデータの追加、または変更時に表示する画面です。



画面の説明

項番	項目	内容
1.	ユーザ ID	0000～9999999999（半角数字 4～10 桁）が入力可能です。 登録済みのユーザ ID と重複しないようにしてください。
2.	ユーザ ID 数	1～1000（半角数字 1～4 桁）が入力可能です。 2 以上を設定した場合には「項番 1.ユーザ ID」から始まる連続したユーザ ID を設定します。 ユーザ ID 数は他のユーザと共有可能に設定した場合のみ入力可能です。
3.	ユーザ種別コンボボックス	以下の中から選択可能です。 項番 / 選択項目 1. 一般ユーザ 2. 管理者
4.	照合方法選択コンボボックス	以下の中から選択可能です。 標準タイプ 項番 / 選択項目 1. カードのみ 2. ID＋カード 3. ID＋パスワード 4. ID＋カード＋パスワード 指静脈タイプ 項番 / 選択項目 1. 指のみ 2. ID＋指 3. ID＋パスワード 4. ID＋指＋パスワード 5. グループ ID＋指

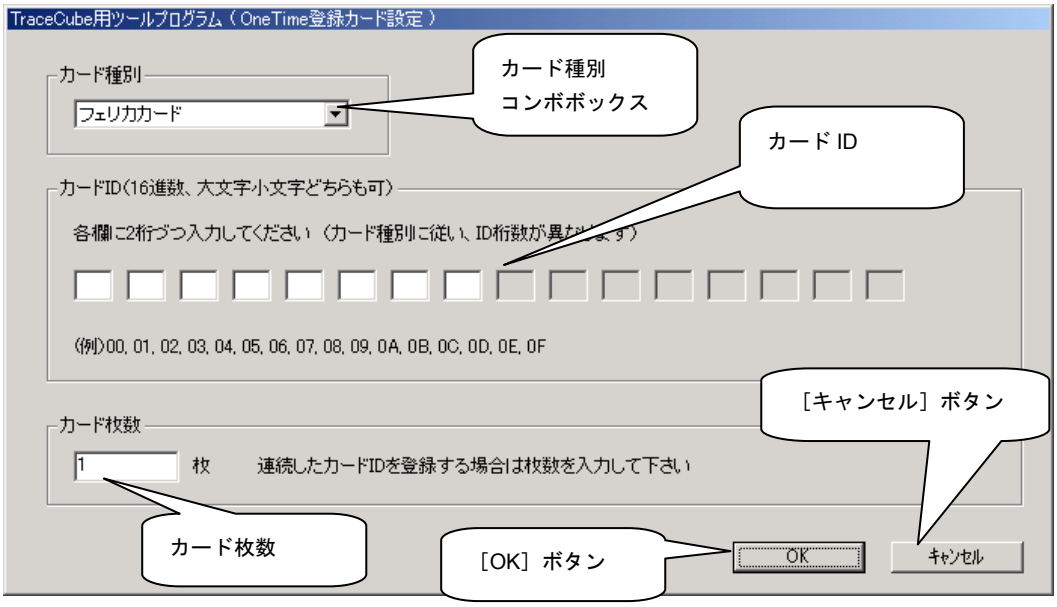
項番	項目	内容
5.	対応トレー	ボタンをクリックして「対応トレーとして設定」（ブルー表示）、「未設定」（グレー表示）を選択して下さい。 また、トレー共有を許可する設定の場合には、ボタンを赤枠表示します。 ※ OneTime 登録トレーは選択できません。（ボタンが不活性となります） ※ トレー共有を許さない設定の場合には、一般ユーザ登録済みトレー及び、編集データ中の一般ユーザに設定されているトレーは選択できません。（ボタンが不活性となります）
6.	［OK］ボタン	設定内容をチェックし、異常が無ければユーザ編集画面に戻ります。 異常時にはエラーメッセージを表示します。 エラーメッセージの詳細は下表を参照してください。
7.	［キャンセル］ボタン	データ破棄の問い合わせメッセージ表示後、ユーザ編集画面に戻ります。 ※ 問い合わせメッセージは設定変更された場合のみ表示されます。

エラーメッセージ一覧

項番	エラーメッセージ	原因／対処方法
1.	ユーザ ID が入力されていません	ユーザ ID を入力して下さい
2.	ユーザ ID は 4 桁以上､10 桁以下で設定してください	ユーザ ID は 4 桁以上、10 桁以下で設定してください
3.	ユーザ ID は数字のみ使用可能です	半角数字で入力して下さい
4.	ユーザ ID 数は 1～1000 の範囲で指定してください	ユーザ ID 数は 1～1000 の範囲で指定してください
5.	ユーザの最大登録数を超えています	ユーザデータの最大登録数は 1000 です。 ユーザデータ編集画面に既に登録済みのユーザデータを含めて登録数が 1000 以下となるようにユーザ ID 数を指定してください
6.	一般ユーザの場合、対応トレーを設定して下さい	一般ユーザの場合、対応トレーを最低 1 個設定して下さい
7.	ユーザ ID（XXXXXXXXXX）が重複しています ※ XXXXXXXXXX 部分にはユーザ ID が出力されます	ユーザ編集画面に既に登録済みのユーザ ID は指定できません。 ユーザ ID を変更するか、ユーザ ID 数を変更して、重複しないようにしてください

3.9　OneTime 登録カード設定画面

ユーザデータの追加、または変更時に表示する画面です。



画面の説明

項番	項目	内容
1.	カード種別	以下の中から選択可能です。 項番 / 選択項目 1. フェリカカード 2. マイフェアカード 3. ミューチップカード
2.	カード ID	カード ID を半角 16 進数文字（0～9、A～F、a～f）で入力してください。 「カード種別」に従って、カード ID のデータサイズが以下のように異なります。 項番 / カード種別 / カード ID サイズ（桁数） 1. フェリカカード / 8 バイト（16 桁） 2. マイフェアカード / 7 バイト（14 桁） 3. ミューチップカード / 16 バイト（32 桁） 入力は 1 バイト（16 進数 2 桁）毎に行います。 登録済みのカード ID と重複しないようにしてください。
3.	カード枚数	1～1000（半角数字 1～4 桁）が入力可能です。 2 以上を設定した場合には「項番 2.カード ID」から始まる連続したカード ID を設定します。

項番	項目	内容
4.	［OK］ボタン	設定内容をチェックし、異常が無ければ OneTime 登録カード設定画面に戻ります。 異常時には下表のエラーメッセージを表示します。
5.	［キャンセル］ボタン	データ破棄の問い合わせメッセージ表示後、OneTime 登録カード設定画面に戻ります。 ※ 問い合わせメッセージは設定変更された場合のみ表示されます。

エラーメッセージ一覧

項番	エラーメッセージ	原因／対処方法
1.	XX バイト目のデータが不正です ※ XX 部分には 1～16 の数値が出力されます	カード ID は半角 16 進数文字（0～9、A～F、a～f）を入力して下さい。
	カード ID（XXXXXXXXXX）が重複しています ※ XXXXXXXXXX 部分にはカード ID が出力されます	OneTime 登録カード編集画面に既に登録済みのカード ID は指定できません カード ID を変更するか、カード ID 数を変更して、重複しないようにしてください

4 ファイルの説明

本ツールにて取り扱うファイルについて説明します。

4.1　ユーザ編集ファイル

ユーザー括登録ファイルを作成するための編集ファイルです。

ファイルフォーマット（CSV 形式）について説明します。

（1）　注意点

① 各フィールドは半角カンマ（,）で区切ってください。

② 必須項目は必ずデータを記述してください。記述がない場合はそのレコードを無視します。

③ 省略可能なフィールドを省略した場合にはデフォルト値が適用されます。ただし、対応トレーについては、デフォルト値を適用しません。

④ フィールド番号は固定です。省略項目以降にデータを設定する場合には、省略項目を半角カンマのみで指定してください。逆に以降の項目を全て省略する場合には、半角カンマは不要です。

⑤ 行の最後は改行コード（0x0D, 0x0A）を設定してください。

（2）　フォーマット

フィールド番号	項目	内容	桁数	入力条件
1	ユーザ ID	半角数字 0000～9999999999	4～10	必須項目
2	ユーザ種別	半角数字 0：一般ユーザ（デフォルト） 1：管理者	1	省略可能
3	照合方法	半角数字 標準タイプ　0：カードのみ（デフォルト） 1：ID＋カード 2：ID＋パスワード 3：ID＋カード＋パスワード 指静脈タイプ　0：指のみ 1：ID＋指 2：ID＋パスワード 3：ID＋指＋パスワード 4：グループ ID＋指	1	省略可能
4～33	対応トレー	半角数字 1～30 ※ユーザ種別が一般ユーザ時のみ有効	1～2	省略可能

（３）　設定例

① ユーザ ID のみ指定する場合

12345678 改行コード

上記データをロードすると、ユーザ ID（12345678）、一般ユーザ、照合方法（カードのみ）、対応トレー（なし）のユーザが登録されます。

② ユーザ ID とユーザ種別のみを設定する場合

12345678,1 改行コード

上記データをロードすると、ユーザ ID（12345678）、管理者、照合方法（カードのみ）、対応トレー（なし）のユーザが登録されます。

③ ユーザ ID と対応トレー（No.1）のみを設定する場合

12345678,,,1 改行コード

上記データをロードすると、ユーザ ID（12345678）、一般ユーザ、照合方法（カードのみ）、対応トレー（No.1）のユーザが登録されます。

④ 全てのデータを設定する場合

12345678,0,3,1,1,2,3,4,5,6,7,8,9,10 改行コード

上記データをロードすると、ユーザ ID（12345678）、一般ユーザ、照合方法（ID＋カード＋パスワード）、対応トレー（No.1～10 の 10 個）のユーザが登録されます。

4.2　OneTime 登録カード編集ファイル

OneTime 登録カード一括登録ファイルを作成するための編集ファイルです。

ファイルフォーマット（CSV 形式）について説明します。

（１）　注意点

①　各フィールドは半角カンマ（,）で区切ってください。

②　全ての項目を設定してください。

③　フィールド値が不正の場合はそのレコードを無視します。

④　カード ID は決められた桁数設定してください。

⑤　行の最後は改行コード（0x0D, 0x0A）を設定してください。

（２）　フォーマット

<table>
<tr><th>フィールド番号</th><th>項目</th><th>内容</th><th>桁数</th><th>入力条件</th></tr>
<tr><td>1</td><td>カード種別</td><td>半角数字
1：フェリカカード
2：マイフェアカード
3：ミューチップカード</td><td>4～10</td><td>必須項目</td></tr>
<tr><td>2</td><td>カード ID</td><td>半角 16 進数文字
カード種別毎に桁数が異なる
<table><tr><th>項番</th><th>カード種別</th><th>桁数</th></tr><tr><td>1.</td><td>フェリカカード</td><td>16</td></tr><tr><td>2.</td><td>マイフェアカード</td><td>14</td></tr><tr><td>3.</td><td>ミューチップカード</td><td>32</td></tr></table>※　大文字小文字は不問</td><td>1</td><td>省略可能</td></tr>
</table>

（３）　設定例

① フェリカカードの場合

1,000102030405060A 改行コード

上記データをロードすると、カード ID（000102030405060A）のフェリカカードが登録されます。

② マイフェアカードの場合

2,00010203040506 改行コード

上記データをロードすると、カード ID（00010203040506）のマイフェアカードが登録されます。

③ ミューチップカードの場合

3,000102030405060708091011121314ff 改行コード

上記データをロードすると、カード ID（000102030405060708091011121314ff）のミューチップカードが登録されます。

4.3　ユーザー括登録ファイル

Trace Cube 本体に読み込ませるためのバイナリファイルです。

このファイル内容を表示、編集することはできません。

本ツールにて、ユーザ編集ファイルを作成して、ファイル出力することで作成されます。

（１） ファイル名

userregl.dat（固定）

（２） 出力場所

任意

※ Trace Cube にて取り込むためには、USB メモリの直下に格納されている必要があります

4.4　OneTime 登録カードー括登録ファイル

Trace Cube 本体に読み込ませるためのバイナリファイルです。

このファイル内容を表示、編集することはできません。

本ツールにて、OneTime 登録カード編集ファイルを作成して、ファイル出力することで作成されます。

（１） ファイル名

onecardl.dat（固定）

（２） 出力場所

任意

※ Trace Cube にて取り込むためには、USB メモリの直下に格納されている必要があります

4.5　一括登録エラーリストファイル

Trace Cube 本体におけるユーザー括登録時に、エラーで登録できなかったユーザ ID が出力されます。
ファイルフォーマット（CSV 形式）について説明します。

（１）　ファイル名

regerror.csv（固定）

（２）　出力場所

USB メモリ直下

（３）　フォーマット

<table>
<tr><th>フィールド番号</th><th>項目</th><th>内容</th><th>桁数</th></tr>
<tr><td>1.</td><td>ユーザ ID</td><td>半角数字
0000～9999999999</td><td>4～10</td></tr>
<tr><td>2.</td><td>エラー内容</td><td>以下のエラー内容文字列が出力されます
<table>
<tr><th>項番</th><th>エラー内容文字列</th></tr>
<tr><td>1.</td><td>ユーザ ID 重複</td></tr>
<tr><td>2.</td><td>トレー共有エラー</td></tr>
<tr><td>3.</td><td>OneTime トレーエラー</td></tr>
<tr><td>4.</td><td>登録数オーバー</td></tr>
</table></td><td>可変長</td></tr>
</table>

※ 各フィールドは半角カンマ（,）で区切られています。

※ 行の最後は改行コード（0x0D, 0x0A）です。

5 一括登録ファイルの使い方

本ツールにて作成した一括登録ファイルの使い方について説明します。

5.1　ユーザー括登録ファイル

（１） USB メモリへの格納

ユーザー括登録ファイル（userregl.dat）が USB メモリの直下に格納されていることを確認してください。

例）USB メモリが D ドライブとして認識されている場合

D:¥ userregl.dat

※ USB メモリは本ツールプログラムでフォーマットされたもので、Trace Cube 本体にて認識可能なものを使用してください。

（２） Trace Cube における一括登録

「6. Trace Cube 本体における操作」を参照してユーザー括登録を実行します。

Trace Cube 本体の画面指示に従い、USB メモリを装置前面の USB メモリ用差し込み口に接続して、［OK］ボタンを押してください。

ユーザデータの登録後、画面指示に従って USB メモリを抜いてください。

登録されたユーザデータの確認方法は「6. Trace Cube 本体における操作」を参照してください。

ユーザ登録時にエラーが発生した場合には USB メモリ内に一括登録エラーリストファイル（regerror.csv）が出力されます。ファイルの詳細は「4.5 一括登録エラーリストファイル」を参照してください。

（３） 本登録

一括登録された直後のユーザは、カード、指及びパスワードが未設定の仮登録状態のため、初回利用時に以下の操作が必要となります。

① ユーザ ID を入力してください。

② 「本登録を行います」メッセージが表示されるので［OK］キーを押してください。

③ 画面の指示に従い、カードの登録、パスワードの登録を行ってください。

※設定済みの照合方法により、登録する項目は異なります。

④ 登録が完了すると認証 OK となり、管理者の場合は管理者メニュー表示、一般ユーザの場合には対象トレーのロックが解除されます。

⑤ 次回以降の認証時には「本登録を行います」メッセージは表示されなくなります。

5.2　OneTime 登録カード一括登録ファイル

（１） USB メモリへの格納

ユーザー括登録ファイル（onecardl.dat）が USB メモリの直下に格納されていることを確認してください。

例）USB メモリが D ドライブとして認識されている場合

D:¥ onecardl.dat

※ USB メモリは FAT 形式でフォーマットされたもので、Trace Cube 本体にて認識可能なものを使用してください。

（２） Trace Cube における一括登録

「6. Trace Cube 本体における操作」を参照して、OneTime 登録カードの一括登録を実行します。

Trace Cube 本体の画面指示に従い、USB メモリを装置前面の USB メモリ用差し込み口に接続して、［OK］ボタンを押してください。

OneTime 登録カードの登録後、画面指示に従って USB メモリを抜いてください。

登録された OneTime 登録カードの確認方法は、「6. Trace Cube 本体における操作」を参照してください。

6 Trace Cube 本体における操作

本ツールにて必要となる、Trace Cube の設定内容の確認方法及び、一括登録方法について説明します。
設定内容を確認するために管理者権限で認証を行い、管理者メニューを表示してください。

6.1　トレー共有設定の確認

管理者メニュー
　├ 5. 運用設定
　　├ 4. トレー共有

6.2　OneTime 機能設定の確認

管理者メニュー
　├ 5. 運用設定
　　├ 1. OneTime
　　　├ 1. OneTime 機能

6.3　一般ユーザ登録済みトレーの確認

管理者メニュー
　├ 5. 運用設定
　　├ 1. OneTime
　　　├ 7. 一般ユーザトレー

6.4　OneTime 登録トレーの確認

管理者メニュー
　├ 5. 運用設定
　　├ 1. OneTime
　　　├ 8. OneTime 登録トレー

6.5　ユーザー括登録

管理者メニュー

├ 2.ユーザデータ

├ 5.一括登録

6.6　ユーザデータの表示

管理者メニュー

├ 2.ユーザデータ

├ 1.表示

6.7　OneTime 登録カードの一括登録

管理者メニュー

├ 5. 運用設定

├ 1. OneTime

├ 4. カード登録

├ 2. 一括登録

6.8　OneTime 登録カードの表示

管理者メニュー

├ 5. 運用設定

├ 1. OneTime

├ 5. カード表示

7 CSV 形式ファイル編集時の注意事項

CSV 形式ファイルを本ツール以外のソフトウェアで編集する際の注意事項について説明します。

7.1　表計算ソフト

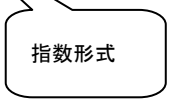
Microsoft Excel などの表計算ソフトを使用して CSV 形式ファイルを編集する際には、以下の点についてご注意ください。

（１）指数形式

CSV ファイルを読み込むと、ユーザ ID やカード ID が指数形式で表示される場合があります。

例）1234567890,1,1,1 を読み込んだ場合

	A	B	C	D	E	F
1	1.23E+09	1	1	1		
2						



このようなファイルを保存して CSV ファイルの内容が指数形式となった場合には、本ツールにて正常に読み込む事ができません。

CSV ファイルの読み込み方法やセルの属性変更方法については、お使いの表計算ソフトの取扱説明書を参照してください。

注）

Microsoft 及び、Excel は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- この製品を譲渡、または貸し出しされる場合は、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

- 修理・その他ご不明な点については、お買い求めの販売店もしくは下記のフリーダイヤルまでご連絡ください。

お客様相談室　フリーダイヤル

TEL 0120-074416

FAX 0120-402539

お問い合わせは土日祝日を除く午前 9 時より 12 時、午後 1 時より 5 時とさせていただきます。

株式会社ライオン事務器

本社　〒164-0003　東京都中野区東中野 2-6-11　　TEL.03-3369-1111

09 E